

# FLORE21 ホットニュース

サッカー女子ワールドカップ、なでしこジャパンは予選リーグ・グループCの2試合目も順調に勝利しスペイン女子代表とともに3試合目を待たずに決勝トーナメント進出が決定しました。

今週の会長小池のコラム「過去記事」はちょうど12年前の女子ワールドカップ初優勝直後のコラムです。

冬の南半球での熱い戦いに目が離せなくなってきました。

今週のホットニュースは、

○大田店 「仲卸しとしての産地訪問」学ぶことばかりです

○世田谷店 今年の夏の「出会い」

○葛西店 準絶滅危惧種に指定されている世田谷区の花「鷺草・サギソウ」

○会長小池のコラム(過去記事) 12年前の感動をもう一度! 「なでしこジャパン」

以上の3+1レポートです。それでは、どうぞご覧ください

## OFLOの部屋

初めまして。今年4月に入社致しました、尾崎と申します。

初めてのホットニュース作成で、堅苦しい文章に見えるかもしれませんが、ぜひ楽しんで読んでいただくと嬉しいです! よろしくお願いたします

さて、入社前から研修として何度か産地見学にいきましたが、6月は千葉県南房総の青木園芸さんと金井園芸さんにお邪魔させていただきましたのでこちらの2産地さんについて書いていきたいと思ひます。

まずはとても立派なハウスを持ち、自慢のアジサイを育て上げる青木園芸さん。





本当に広く環境の整ったアジサイハウスは一種の観光地のように、オープンデーだったこともあり美味しい豆乳ラテを頂きながら贅沢にハウス見学させていただきました。

たくさんの美しいアジサイを育てるために建てたこだわりのハウス自慢は・・・！

1. 日射量に応じて環境管理
2. 湿度が90%いじょうにならないようにクーラーや暖房をかけ調節
3. 雨水でアジサイを育てる
4. 枝を切りながら花の色を変えていく

・・・etc

他にもいくつかありますが、上記の1, 2は、いつでもどこでも対応できるよう、また働き方改革も考慮しすべてスマホでの遠隔管理をするそうです。

**現代的でスマート！**

ただし、やはりこれだけの広大なハウスで花を育て、様々な工夫を施すことにかかるエネルギーコストはなんと約500万円ほどΣ(°Д°)

聞いて驚きますが、それだけお金と時間と手間をかけて、消費者のもとに届くアジサイたちは感触が柔らかく本当に綺麗な色で納得のいく品質であるといえます。





他にも、青木さんの思うアジサイの水揚げのより良い方法を教えて頂いたり、ゼラニウムのハウスも見せて頂きました。

ゼラニウムの香りもそれぞれ違い様々な品種があることを学びました。私のお気に入りの香りはビターレモンという品種でした。

どんな香りがするかはぜひ実物に触って香ってみて頂きたいです！

🌿🌿🌿

### 次に金井園芸さんについて！

同じく千葉県南房総に位置する金井園芸さんでは、ダリアやひまわり、スカビオサなど可愛らしいお花を育てている農家さんです。

また、ホワイトレースをキラキラにし始めたのが金井さん！

はじめは独自の方法でキラキラをつけ今でも継続してキラキラフラワーを作っています☆彡

主に案内していただいたのが、ダリアとスカビオサ。金井さんもまたこだわりのある育て方をしていました。

1. シーズン中の花は芽欠きの最中に葉をとり、太陽と風を当て花持ちをよくする。
2. しっかりとした茎にさせるため日焼けさせ、自分で水揚げをするのが難しいが、リヤにたくさん水揚げさせることができる。
3. 適度な水管理をすることで花が上向きで固くしっかりしたものに。
4. ベッド（地面からの土の高さ）を高くすることで新鮮な水を与える。



…etc

## 金井さんのこだわりはなんといっても葉!!



葉と花のバランスを大切にしており、葉にカルシウムやたんぱく質を含ませるとのこと。

企業秘密だそうですが、コカ・コーラやビール🍺を与えていたりするのだとか…?!



また、我々を含めた消費者のもとに届けるにあたり、より綺麗なお花を配達するため、ダリアは切ってからすぐに水につけて持ちと質の良い物を出荷して下さるのです。



スカビオサは、リレー栽培を行っており、他産地と協力し合い年中良いスカビオサを出荷できるよう栽培して下さっています。

私自身スカビオサのハウスには初めて入り、こんな風に地面（ベッド）から生えているのか！と驚きました。

金井園芸さんでは、出荷できないダリアとスカビオサを自由に切って持って行って～ということで気にいった色味のダリアや今後どう咲くか気になるスカビオサを持ち帰り早速帰ってから生けさせていただきます🌸





産地見学では、今まで知らなかった言葉や栽培方法、農家さんの想い、などなど、現地に行って、見て、聴いて、触って、初めてわかることばかりで本当に勉強になる充実した時間となりました。

私たち仲卸しにとっていかに産地見学が重要かが改めて気づけた瞬間でした！

大田店 尾崎

## 世田谷店おすすめ

おはようございます！

体力勝負のような連日の暑さですが体調崩していないでしょうか？

持参している水筒のサイズを1.2リットルの物に変更しました。

汗かきの私には夏の必需品です。

ここ何年かのコロナが多少落ち着き生産者さんの所へ足を運べる機会が増えてきました。やはり久しぶりにお伺いするとテンションがあがります。

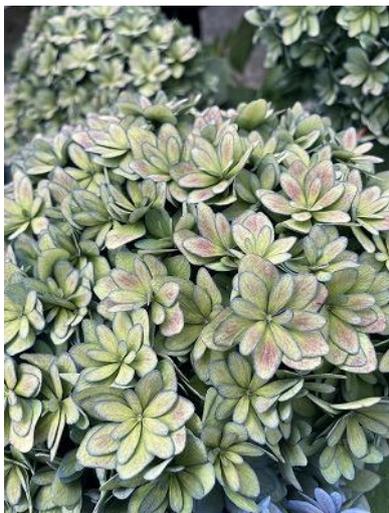
やっぱり普段市場で目にする物とは違う新しい出会いがあります。

そこで今回はテンションのあがったアジサイとダリアをピックアップしてみます。

**アジサイの八重咲きがとても良かった！**

千葉県青木園芸さんの年に一度のオープンデーでの出会いです。

**\*ごきげんよう\***



## \*翠玉（すいぎょく）\*



立体感のあるフォルムがとても魅力的でした。

共に元色は青系でした。

青から色変わりしていく色はあじさいの中で一番好きな色合いです。

一見すると同じように見える2品種ですが「ごきげんよう」の方が咲き始めの青の色が濃く緑色に変化した際の深みが強い気がします。



ごきげんよう



翠玉

ヘッドサイズは大きく、今の時期から増えてくるドライ系のアナベルと合わせてみてもアクセントが出ていいかなあ等と思っています。

綺麗にこのままドライになるので長い目で楽しむ事が出来る品種だと思います。  
事前の注文が必要になるのでご注文の際はお問い合わせください。

## 露地物のダリアがとても良かった！

長野県青木村にお伺いしてきました。

これまで何度かホットニュースで青木村のダリアをピックアップしていますが、今回は露地（屋根のあるハウスでは無く屋根の無い畑）にあったダリア達です。

基本は自然の天候におまかせしている状態でハウスとは違うとてもミニマムなダリアが沢山あり出会いです。

花工房やまぐちさんでの出会いでした。



こちらのダリアは出荷用では無く植えられている物でした。

長さは短いのですが惹かれたポイントはなんといってもサイズ感でした。

マイクロダリアと比べても遜色無い位の小さなサイズ感がとても使いやすいそうだと思います、出荷をしてくれないかご相談です。

青木村のダリアならではの品種、品質で暑い夏でも勝負できます。

サイズ参考になりますでしょうか？

標高の高い涼しい場所で作られている夏でも安心の青木村のダリアをお届けできればと思います。



まずはミックスの束で、早ければ来週にでも店頭で販売が出来るようになる予定です。是非よろしくお願ひ致します！

世田谷店 草柳

## 仕入れの素☆葛西店

東京世田谷 「ボロ市」で有名な代官屋敷に行ってきました。

「せたがやほたる祭り」と「サギ草市」を観て参りました



世田谷ボロ市通りの中心に佇む代官屋敷住宅建造物として国の重要文化財に指定されています。



江戸時代中期から明治維新まで世田谷の代官職を勤めてきた大場家の提灯が出迎え、立派な表門を潜ると次には樹齢 200 年のタブノキが迎えてくれます。



元文 2 年（1737 年）に建て直された屋敷で当時の様子を伺うことができます。

元々代官様のお役は主に年貢を納める事と領内の治安維持や罪人を捕縛したりする仕事でした。

屋敷内には多くの植栽があり四季折々の風情を楽しむことができます。

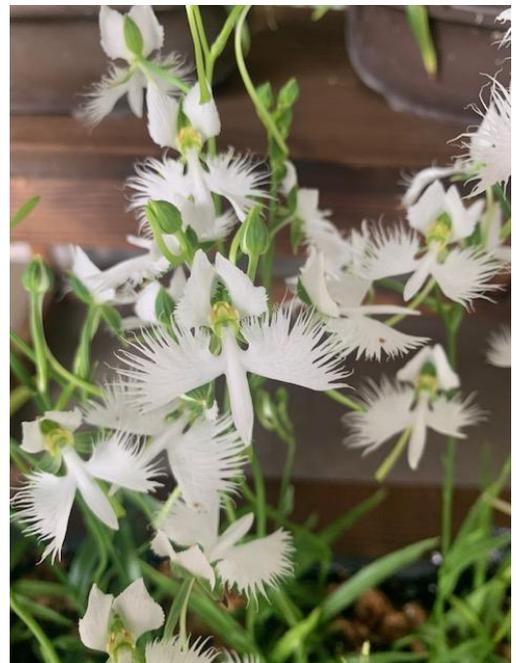


通りを挟んで天祖神社では「サギ草市」が開催されていました。



### 世田谷区の花に制定されているサギ草

白い 3 センチメートルほどの花の形が白鷺にそっくりな「らん科の多年生草木」です。





かつて世田谷区に多数自生しサギ草にまつわる伝説も残っていますが、残念ながら現在は自生していません。

白鷺が飛ぶような純白の美しい花のサギ草

本当にシロサギにそっくりですね。

繊細で爽やかで可憐な花の姿の思わず見入ってしまいます。

切花であれば良いなんて思っていました。

1968年（昭和43年）より世田谷区の区の花に制定されました。

真夏に咲く、真っ白なサギ草は爽やかで繊細で上品な姿でした。

ここから少し離れた世田谷区奥沢の九品仏浄真寺の境内にサギ草園があるそうです。

サギ草を眺めながらサギ草にまつわるおとぎ話を読みふけるのもいいかもしれませんね。

低地の開発によって自生地は激減し**準絶滅危惧種に指定されているサギ草。**

何年先も夏が来るごとに白鷺が飛ぶように咲く花が見られる事を願っています。

葛西店 石村

## 会長 小池潔のあれこれコラム（過去記事）

「なでしこジャパン」（2011年07月29日号より）

府中6小の正門の歩道橋に大きな横断幕が掲げられた。通勤に一日一回は通る道です。

### — 『あきらめない気持ち』 感動をありがとう —

府中6小は「なでしこジャパン」のエース澤穂希選手の卒業した、そしてサッカーを始めた小学校です。

澤選手だけでなくJリーグで活躍している川崎フロンターレの中村憲剛も府口少年団で活躍した一人です。

日本中を熱くした『なでしこジャパン』、花の市場までその熱さが飛び火、切花のなでしこは引き合いが強く入手困難なNO1商品です。苗物のなでしこも全て注文で押さえられています。とある花屋さんではスプレーカーネーションを『オランダなでしこ』というネーミングで売りにだしたところ良く売れるという話まで伝わってくる加熱ぶりです。

なぜここまで日本を熱くしたのか。何といたっても『あきらめず最後まで勝利のため

